

KP-990

取扱説明書

KENWOOD

トリオ株式会社
TRIO-KENWOOD CORPORATION

©PRINTED IN JAPAN B50-6157-00(T)
86/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2

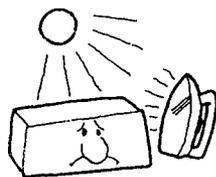
このたびは、ケンウッド オートリフトアップ レコードプレーヤー KP-990 をお買いあげいただきありがとうございます。本機の機能をフルに生かすため、本説明書をよくお読みになり、末永くご愛用くださるようお願いいたします。また、お読みになったあとも大切に保存してください。

ご使用の前に……………必ずお読みください。

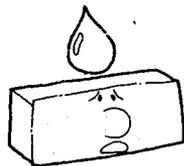
- 本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。
- 本機のモーターは注油の必要がありません。絶対に注油しないでください。
- ターンテーブルを取付けずにモーターを回したり、また、回っているターンテーブルを長時間手でとめたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機では、駆動系に直流モーターを採用していますので、移転等で電源周波数(50Hz,60Hz)に変更があっても何ら手を加えることなくお使いいただけます。

設置上のご注意

直射日光の当る所、暖房器具など発熱物の近くはさけてください。



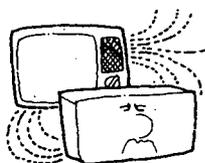
花びん、化粧品など水の入ったものは、セットの上に置かないでください。また、湿気の多い所はさけてください。



不安定な棚などはさげ、ホコリ、振動の少ない水平な場所にセッティングしてください。



テレビからできるだけ離してください。



安全にお使いいただくために

本機は、交流100V専用です。クーラーなどの200Vでは使えません。



ケースなどをはずし、内部にふれることはさけてください。内部に手を入れると感電、故障の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは、ぬれた手で行ないますと感電するおそれがありますのでご注意ください。抜くときは、プラグを持ってください。



ぬれた手で扱わない

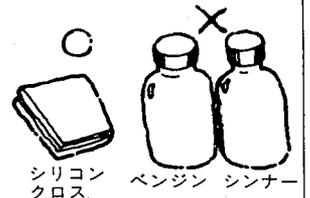
電源コードを強くひっぱったり、無理に折りまげたり、継ぎ足したりすることは、通電しなくなったり、ショートのおそれがありますのでやめましょう。



コードをもたない

セットのお手入れ

ケースカバーなどが汚れたときは、シリコンクロスかやわらかい布でからぶきます。シンナー、ベンジンなどの使用は変色の原因になることがあります。



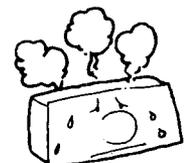
シリコンクロス

ベンジン

シンナー

異常にお気づきのさいは

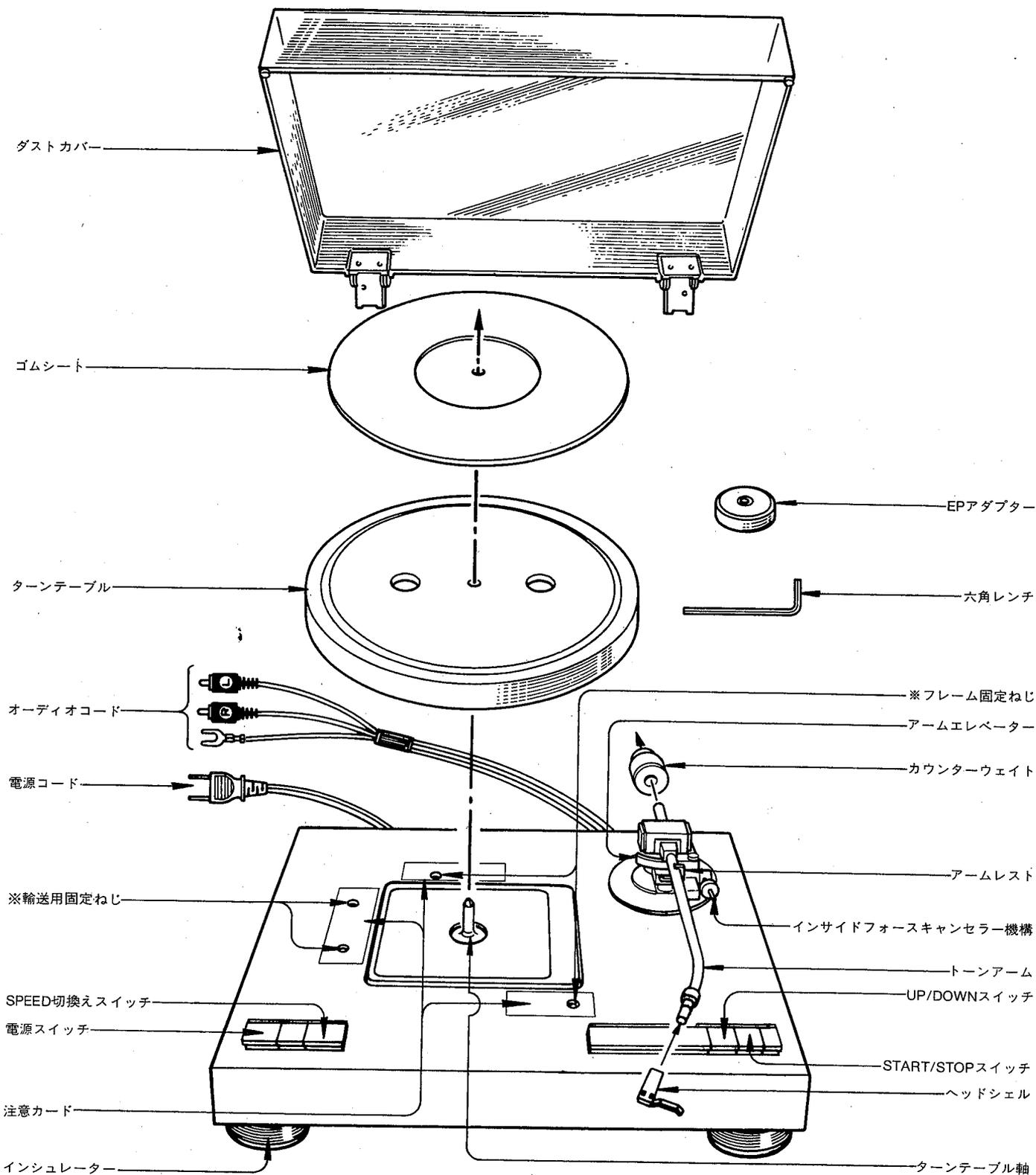
煙がでている、変な臭いがするなどのときは、電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速かに購入店または最寄りのトリオの営業所へご連絡ください。



各部の名称

- 段ボールを開けましたら、組立てる前に下図を参照しながら、各部品が全部そろっていることを確認してください。
- 組立て順序は3ページに従って行ってください。

- 付属品には、次の各部品が入れてあります。
 ヘッドシェル (ヘッドシェル1組+取り付けねじ【10, 15, 20mm各2本】+ワッシャー2個+ナット2個)。
 EPアダプター、カウンターウェイト、六角レンチ
 ※輸送用固定ねじ2本とフレーム固定ねじ2本は、組立ての前に必ず取り外してください。

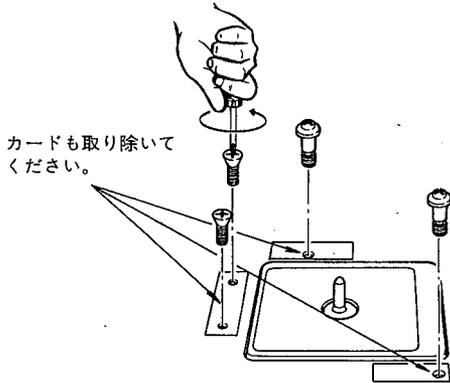


第1図

まず、はじめに ■番号順に組立てを行ってください。

①固定ねじの取り外し

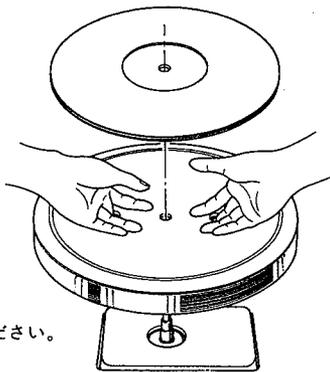
プラスドライバーを用いて4本の固定ねじを取り外してください。なお、転居などで再輸送するときのために、これらのねじは必ず保存しておいてください。



第2図

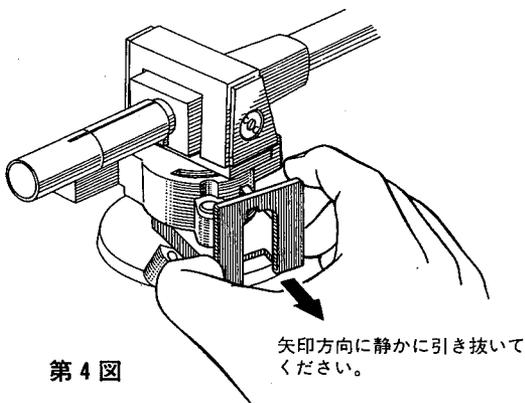
②ターンテーブルの取り付け

ターンテーブルを静かに軸に差し込みます。ターンテーブルは重いので、軸受けをいためないように、まっすぐ、静かにおろしてください。そのあとゴムシートをターンテーブルの上のせてください。



第3図

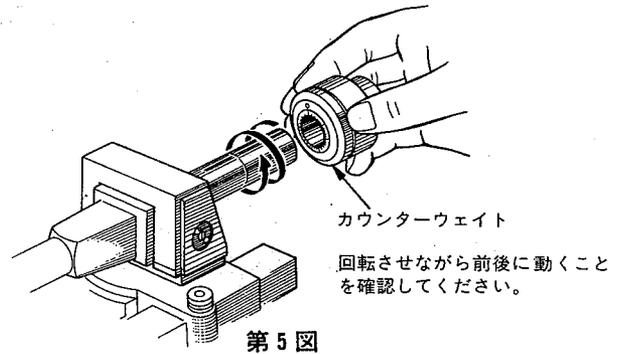
③トーンアームの保護用プラスチックを、下図のように取り外してください。



第4図

④カウンターウェイトの取り付け

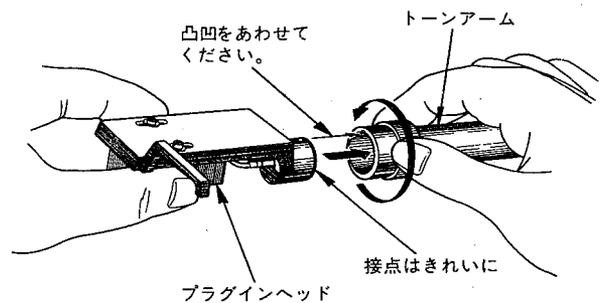
カウンターウェイトをトーンアーム後部に回しながら差し込んでください。



第5図

⑤プラグインヘッドの取り付け

カートリッジを取り付けたあと、下図のようにしっかりと締めつけてください。



第6図

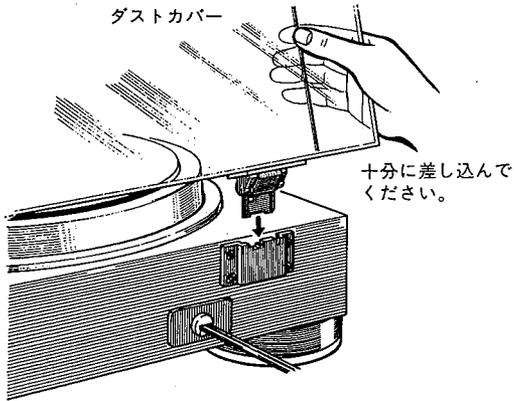
ご注意：

プラグインヘッドの着脱は、トーンアームをアームレストに完全にロックして、アンプの出力を“0”にしておくか電源スイッチを“OFF”にしてから行ってください。

また、トーンアームに無理な力を加えないようにしてください。

⑥ダストカバーの取り付け

下図のように、ダストカバーのヒンジをキャビネット背面のヒンジ受けに差し込みます。

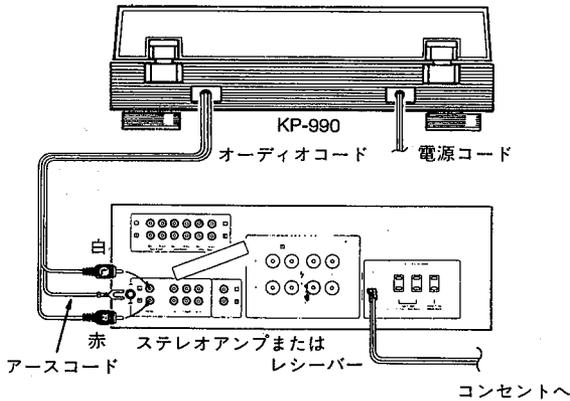


第7図

⑦電源コード、オーディオコードの接続

電源コードを家庭用のコンセント、またはアンプのACアウトレットに接続してください。

オーディオコードはアンプのPHONO端子に左(L), 右(R)を正しく接続します。また、アースコードはGND端子に接続してください。(アンプの電源をOFFにしてコードの接続を行ってください。)



第8図

ご注意：

低出力MCカートリッジ用の単体ヘッドアンプをご使用になる際は、KP-990のアースコードをヘッドアンプのGND端子に接続してください。ステレオアンプ(またはレシーバー)のGND端子に直接接続しますとハム音を生ずることがあります。

AC電源の極性について

本機のAC電源コードの片側には、白線マークが施されています。当社の、他の白線マーク入りコードを使用した機器をご使用の際は、このマークの側を統一しますと音質向上の一助となります。

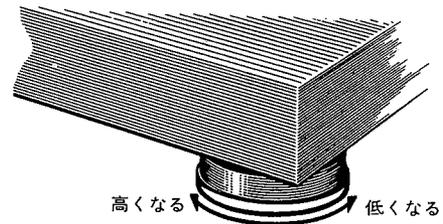
AC電源コンセントへの差込みは、白線マーク側をコンセント差込み口の短い方に合わせるのが一般的ですが、接続される機器によっても、ACラインの状態によっても一様ではありませんので、比較試聴のうえ良い方をお選びください。

当社製品のAC電源コンセントの(・)印は、AC電源コードの白線マーク側と同じ極を示しています。

なお、従来通り極性に捕われずに接続されても結構です。

⑧セットの水平調整

ダストカバーを閉めた状態でセットが水平になるように、4個のインシュレーターで高さの調整をしてください。



第9図

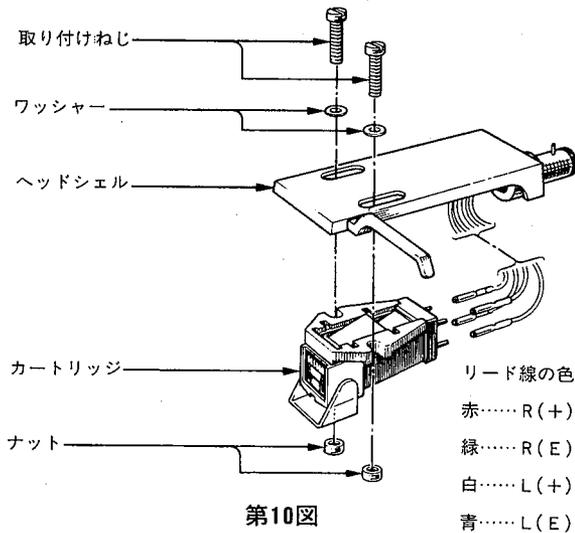
カートリッジの取り付けかた

●本機はカートリッジを付属していませんので、好きなカートリッジをお買い求めのうえ、第10図を参照して取り付け、接続を行ってください。

オーバーハング（カートリッジ取り付け位置）の調整は第11図の寸法と照らし合わせて取り付けねじで位置調整をしてください。この場合カートリッジはヘッドシェルに対してまっすぐ、平行になるように取り付けてください。

●EIA規格に準じたヘッドシェルであれば、本機にそのままご使用になれますが、音質の点でも良く考慮されたものをお選びください。

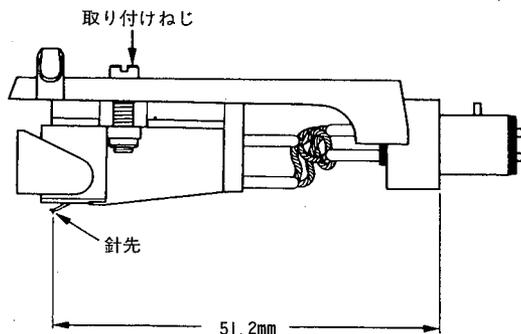
●カートリッジ、ヘッドシェルの重量は製品によって様々に異なります。本機の場合は、カートリッジとヘッドシェルの重量合計が14～24グラムのもので使用できます。（付属のヘッドシェルの重量は12グラムです。）



第10図

●取り付けねじは、3種類付属されていますので適当な長さのものを選んでご使用ください。

●低出力のMCカートリッジやその他の特殊なカートリッジをお使いになる場合、アンプとの接続についてはそのカートリッジの取扱説明書をお読みください。



第11図

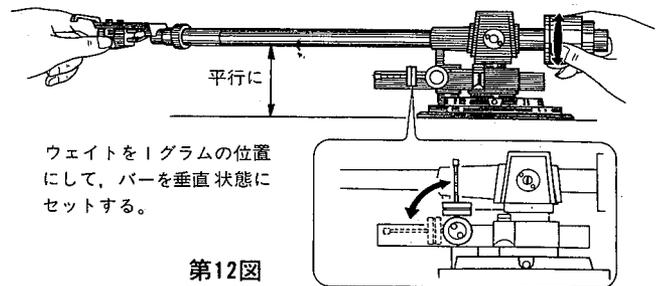
トーンアームの調整

■本機の各部分は精密加工されておりますので、各種の調整は注意深く行ってください。

■トーンアームの調整時は、アンプの電源をOFFにするか、または出力を0（最小）にしておいてください。

●針圧調整のしかた

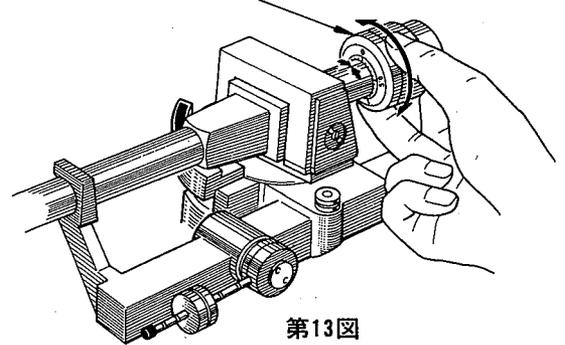
1. 電源を入れてから、UP/DOWNスイッチを押します。ターンテーブルは回転しないでアームエレベーターだけが降下します。
2. インサイドフォースキャンセラー機構のウェイトを1グラムの位置にして、バーを垂直状態にセットします。
3. トーンアームをアームレストから解放します。ヘッドシェルの指かけ部を軽くささえ、トーンアームをアームレストとターンテーブルの中間に移動させます。そして、そのままヘッドシェルを軽くささえながらカウンターウェイトを左右に回し、トーンアームが水平になるように調整します。



第12図

4. トーンアームをアームレストにもどし、カウンターリングのみを回して“0”に合わせます。

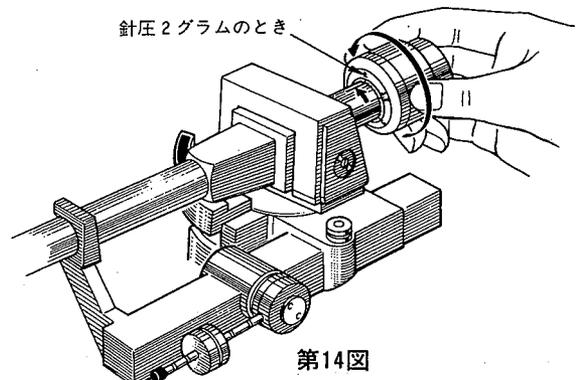
カウンターリング



第13図

5. カウンターウェイトを右に回して、ご使用のカートリッジの適正針圧値に合わせます。

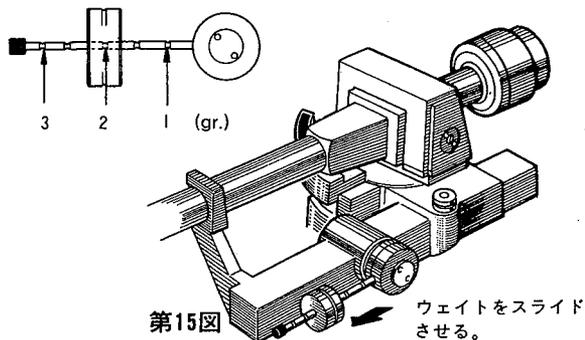
針圧2グラムするとき



第14図

レコード演奏のしかた

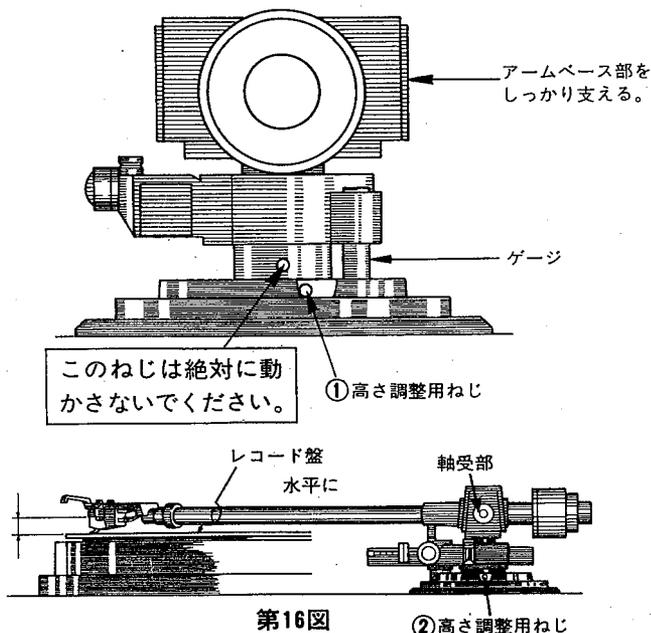
- つぎにインサイドフォースキャンセラー機構を、針圧値に合わせて水平状態にセットします。



- UP/DOWNスイッチを押します。アームエレベーターが上昇し、もとの位置に戻ります。

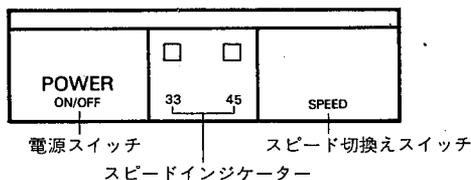
● トーンアームの高さ調整

- まずターンテーブルにレコードをのせてください。
- 電源を入れてから、UP/DOWNスイッチを押します。アームエレベーターが降下してから、針先を静かにレコード盤上におろしてください。
- レコード面とトーンアームパイプの水平状態を横から見て、軸受部が高いか低いかを調べてください。
- トーンアームをアームレストにもどし第16図のように、アームベース部をしっかりと支えながら付属の六角レンチでトーンアームの高さ調整用ねじ2本 (①, ②) をゆるめます。
- アームベース部のゲージ【目盛は2mm間隔】を目安にして、トーンアームが水平となるように高さの調整をし、調整ねじ2本 (①, ②) をしっかりとしめつけます。
- 再度針先をレコード盤上におろして、水平状態を確認してください。(水平でない場合は、4~5項を繰り返して行ってください。)
- 最後にUP/DOWNスイッチを押します。トーンアームが上昇してからトーンアームをアームレストにもどしてください。



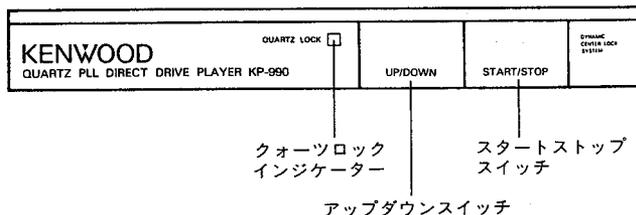
第16図

- 針圧調整、アンプとの接続およびアンプ側の各ツマミ類の位置が適当か確認してください。
- 電源スイッチをONにします。33・1/3回転を示す【33】スピードインジケータが点灯します。
- レコード盤をターンテーブルにのせます。EPレコード(ドーナツ盤)の場合は、付属のEPアダプターをご使用ください。
- 45回転のレコードの場合には、スピード切替えスイッチを押します。【45】スピードインジケータが点灯します。



第17図

- トーンアームをアームレストから解放し、ヘッドシェルの指かけを持って針先をレコード盤上のスタート位置まで移動します。
 - スタート/ストップスイッチを押しますと、ターンテーブルが回転します。通常回転になるとクォーツロックインジケータが点灯し、次にUP/DOWNスイッチを押すと針先が静かにレコード盤上におりて、演奏が始まります。
 - レコード演奏が終ると、アームエレベーターが自動的にトーンアームを持ち上げ、針先はレコード盤から離れます。同時にターンテーブルの回転も止まります。
 - トーンアームをアームレストに戻して、電源スイッチをOFFにします。
- 途中で演奏をやめてしまいたい場合、または途中で止めておきたい場合には、UP/DOWNスイッチを押します。自動的にトーンアームが上がります。演奏を再開するときは、再度UP/DOWNスイッチを押してください。針先が静かにレコード盤上におりてほぼ同じ位置から演奏が再開されます。



第18図

保守について

●レコード盤の取り扱い

レコードを持つときには、音みぞに指先がふれないようにしてください。音みぞに指紋がつくと、そこにホコリやゴミがつきやすくなります。

レコードにホコリやゴミが付着したまま使用しますと、雑音の原因や、レコード、針の摩耗の原因になりますので、演奏前に良質のレコードクリーナーでよくふくようにしてください。

なお、レコードの保存は、直射日光、発熱物、ホコリ、湿気を避けて、積み重ねないで縦に並べるようにしてください。保管方法が悪いとレコード盤のソリや変形の原因になります。

●セットを運ぶときのご注意

転居などで、セットを運搬なさるときには、購入時の包装材で正しく包装してください。包装材がないときでも、ターンテーブル、カウンターウェイト、プラグインヘッド(ヘッドシェル+カートリッジ)、ダストカバーは必ず取りはずして、別梱包のうえ運んでください。

また、必ず4本の固定ねじで固定してください。

アフターサービスについて

1. 保証書—この商品の保証書は別途添付しております。必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保存してください。
2. 保証期間—お買上げの日より1年間です。正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはトリオの営業所が無料修理いたします。
3. 保証期間経過後の修理についてはお買上げの販売店またはトリオの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合にはお客様のご要望により有料修理いたします。
4. 本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年間です。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
5. なお、アフターサービスについて、ご不明な点はお買上げの販売店またはトリオの営業所にご遠慮なくご相談ください。

※ ダンボール箱は是非保管し、アフターサービスや引越の際大切な機器を保護するためにご利用ください。

ステレオ音のエチケット

良い音、楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

お互いに心を配り快い生活環境を守りましょう。

故障？その前にちょっとお調べください

意外な操作ミスが故障と思われることがよくあります。サービスを依頼する前に、まず次の事項をチェックしてみてください。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。他のオーディオ機器と合わせてお調べください。

症 状	原 因	処 置
電源スイッチを押しても、スピードインジケータ(33)が点灯しない。	電源プラグがはずれている。	電源プラグを確実にACコンセントへ差し込む。
針先がレコード面に降りても音が出ない、または音が小さい。	1. 出力コード(オーディオコード)の接続が不完全。 2. ヘッドシェルの取付け不完全。 3. カートリッジのリード線の接続が不完全。	1. 出力コードのピンプラグを確実にアンプのPHONO端子へ差し込む。 2. ヘッドシェルをトーンアームに確実に差し込む。 3. 確実に接続しなおす。
カートリッジの腹がレコード面に接触する。	1. 針圧が重すぎる。 2. トーンアームの高さが不適当。	1. 適正針圧に再調整する。 2. トーンアームの高さを正しく調整する。
再生音が歪んだり、音とびする。または“チリチリ”“パチパチ”というノイズがでる。	1. プレーヤーが水平でなく傾いている。 2. 針先にホコリなどが付着している。 3. 針先が摩耗している。 4. 針圧が軽すぎるか重すぎる。 5. カートリッジの取り付けが曲っている。 6. インサイドフォースキャンセラーのかけすぎ。	1. 水平に設置し直す。 2. 針先を針先掃除用ブラシできれいにする。 3. 新しい針先と交換する。 4. 使用カートリッジの適正針圧に再調整する。 5. 曲りを修正する。 6. 使用カートリッジに合った値に再調整する。
再生音がふるえたり、ハウリング(パワーという音)が起きる。	スピーカーからの振動がプレーヤーに伝わり共振している。	プレーヤーとスピーカーの間を離すか、両者をもっと安定したしっかりした場所に置く。
“ブーン”というハム音が入る。	1. 出力コード(オーディオコード)やアース線の接続が不完全。 2. ヘッドシェルの取り付け不完全。	1. 確実にアンプのPHONO端子とGND端子に接続する。 2. ヘッドシェルをトーンアームに確実に取り付ける。

定 格

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い、予告なく変更になることがあります。

〔フォノモーター〕

駆 動 方 式	ダイレクトドライブシステム
モ ー タ ー	クォーツPLLコアレス&スロットレスモーター
タ ー ン テ ー ブ ル	330mm径1.9kgアルミ合金ダイカスト製
慣 性 モ ー メ ン ト	450kg・cm ²
回 転 数	2スピード……33・1/3、45rpm
ワウ・フラッター	0.008%(WRMS)(FG直読法)
S / N 比	85dB(DIN-B)

適用カートリッジ重量 2~12g(付属シェル使用時)

〔電源部・その他〕

電 源	AC100V,50/60Hz
電 力	11W(電気用品取締法に基づく表示)
電 法	490(幅)×182(高さ)×410(奥行)mm
重 量	13.7kg
付 属 品	EPアダプター 六角レンチ(M4用) アルミダイキャストヘッドシェル1個 両ピンコード

〔トーンアーム部〕

型 式	スタティックバランス型J字アーム
ア ー ム 実 効 長	245mm
オ ー バ ー ハ ン グ	15mm
トラッキングエラー	+1.8°~-1.0°
針 圧 可 変 範 囲	0~3g(0.1gステップ)

アフターサービスのお問合せは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問合せは、
お客様相談室をご利用ください。
電話(03)486-5515

KENWOOD

トリオ株式会社

東京都渋谷区渋谷2-17-5(シオノギ渋谷ビル)150.
電話(03)486-5511